

令和7年度学校評価の分析

令和8年2月19日(木)全教職員による研修にて

※()内の割合は、前年度の評価→今年度の評価

<今年度の成果について>

- ・ 保⑥「お子様は、家であいさつがきちんとできている」(82%→90%)
- ・ 保⑮「学校は、子どもの健康や安全によく気をつけている」(84%→98%)
- ・ 保⑯「立小だより、学年だより、保健だより、HP等をよく閲覧している」(87%→95%)
- ・ 児①「学校での生活は楽しい」(84%→98%)
- ・ 児⑥「授業は分かりやすく楽しい」(82%→93%)
- ・ 児⑤「学校の先生は、困っているときに相談にのってくれる」(80%→98%)
- ・ 児⑬「道徳や人権学習で学んだことを役立てている」(77%→93%)
- ・ 教⑱「勤務時間管理と業務改善への意識改革が進んでいる」(80%→93%)
- ・ 教⑲「年休を計画的に消化している」(73%→86%)

<次年度に向けての課題について>

- ・ 保④「本をよく読んでいる」の評価が低い(40%→43%)
- ・ 保⑭「学校は、いじめがないように、友達関係によく心配りしている」(79%→80%)
- ・ 保⑧「家でできまりや約束がきちんと守れている」(94%→83%)
- ・ 保⑨「家でお手伝いや掃除がきちんとできている」(64%→70%)
- ・ 児⑨「勉強で分からないことは質問している」(63%→81%)
- ・ 児⑪「読書をするのが好きだ」(68%→78%)
- ・ 教⑤「立小だより・学年だより・保健だより・HP等、わかりやすく情報を伝えている」(93%→79%)

<継続・発展させたい取組や具体的改善策等について>

- ・ 電話連絡や学年だより等で、学校のことを丁寧に伝えていく
- ・ 保護者にとって分かりにくい(答えにくい)項目があるので、項目を考え直す
- ・ 読書の宿題を出したら、1行でも感想を書くようにすることと、1か月に1回程度、親子で読書を振り返って感想を書いてもらう
- ・ 6月の参観授業の後、ゲームの怖さやネット依存をテーマにした研修(講演会)を行う
- ・ 分かりやすく楽しい授業を継続させる(授業力の向上)
- ・ 困っている児童がヘルプを出しやすい環境づくり(TTの授業を増やす)
- ・ 常時活動のない委員会によるあいさつ運動の実施
- ・ 集会活動や校外学習、出前授業等の継続化
- ・ 授業時数が十分なので、フレキシブルな時間割編成に

※改善策については、今後より具体的な方法や取組について協議する